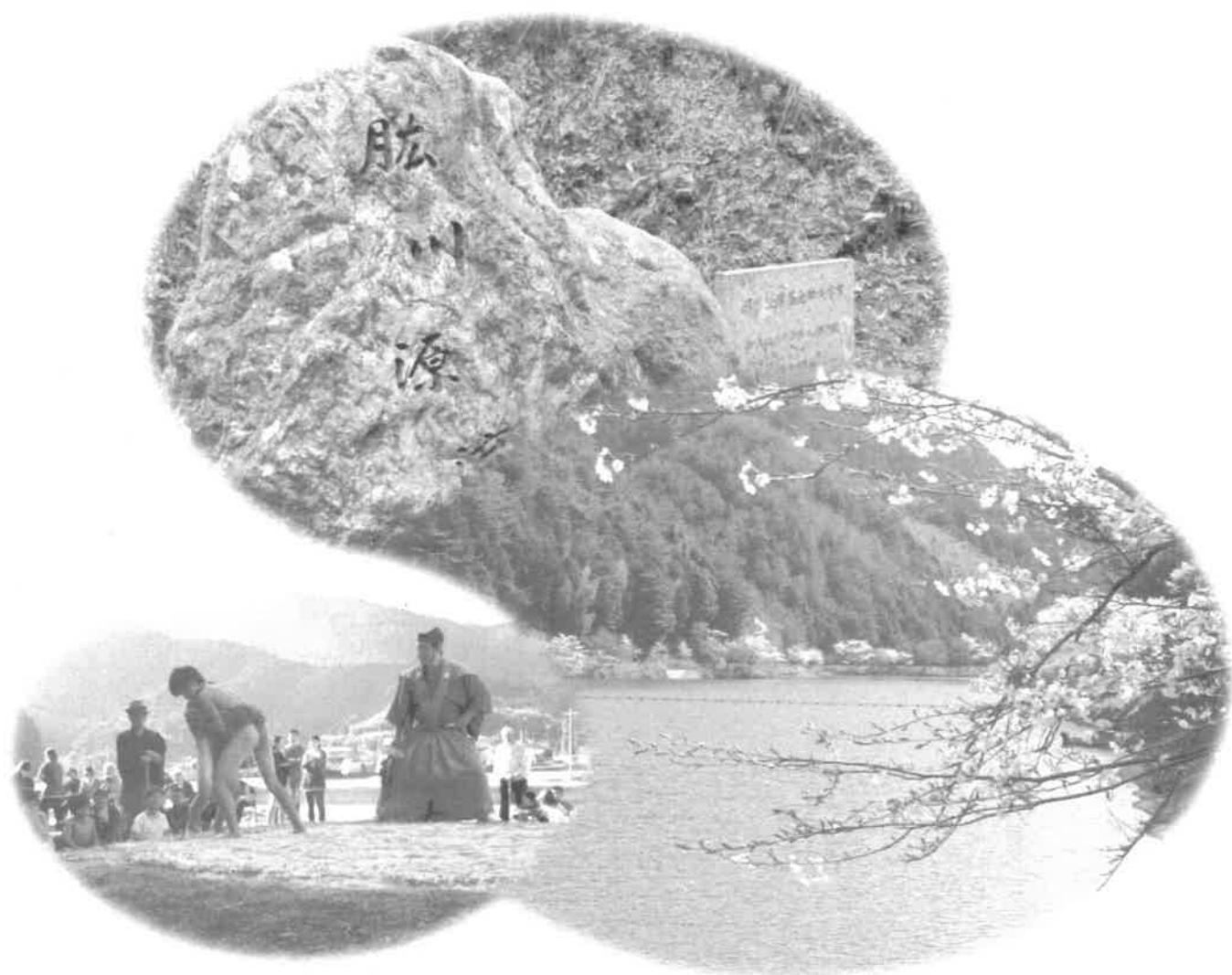


多田地域づくり計画書

～みんなで作る 心豊かなまち 多田～



多田だんだんプロジェクト

目 次

1. はじめに	．．．	P 1
2. 多田地区について	．．．	P 2
3. 地域づくり計画策定に向けて	．．．	P 3
4. だんだんプロジェクトの地域づくり構想	．．．	P 5
5. 部会別テーマ	．．．	P 6
6. 部会別事業計画書	．．．	P 12
7. 多田地域振興協議会会則	．．．	P 18

1. はじめに

多田地区は西予市宇和町の最北部を占め、肱川の源泉地であり、国道56号と県道宇和・八幡浜線に挟まれて広がる小盆地を中心に大部分が肱川山地に囲まれ、現在は比較的災害も少なく山と農地が広がる地域です。

平成28年度から新しい地域づくりの活動がスタートし、7年が経過しました。平成28年度には地域全体での防災訓練を実施。地域住民への防災意識の向上に努めました。また、地域を活かした新たな産業の開発、文化の伝承など多田地区を元気にする活動を続けてまいりましたが、活動を行う上で新たな課題が見つかり、今後の活動について考える時間も必要となっています。

今後は当初のコンセプトである「多くの住民が参加できる機会の創造とコミュニケーションを向上させる手段を考える事」を今一度認識し、自治センター化を機に、より多くの地域住民が参画できる地域づくり活動を計画・実行し、多田地域を盛り上げ地域を明るくする活動に取り組みながら事業を続けていきます。

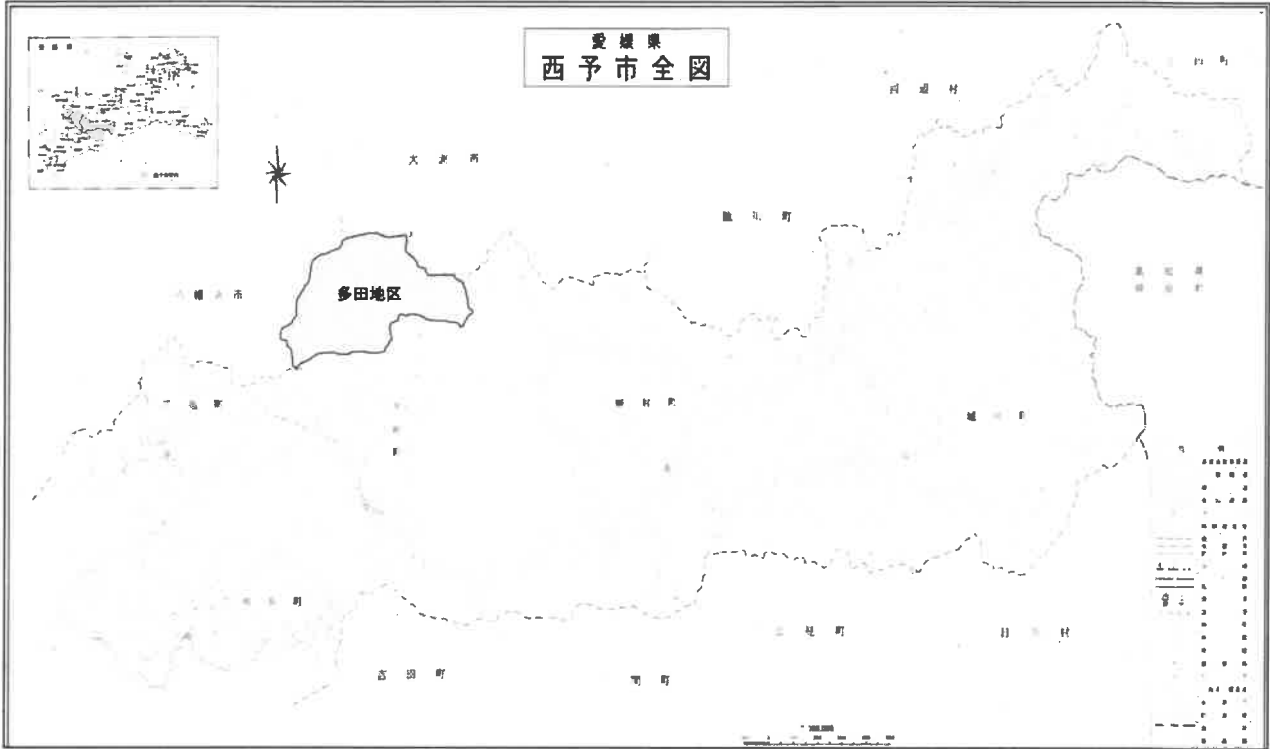
令和5年3月吉日

多田だんだんプロジェクト
会長 菊地 基和

2. 多田地区について

①地理と概要

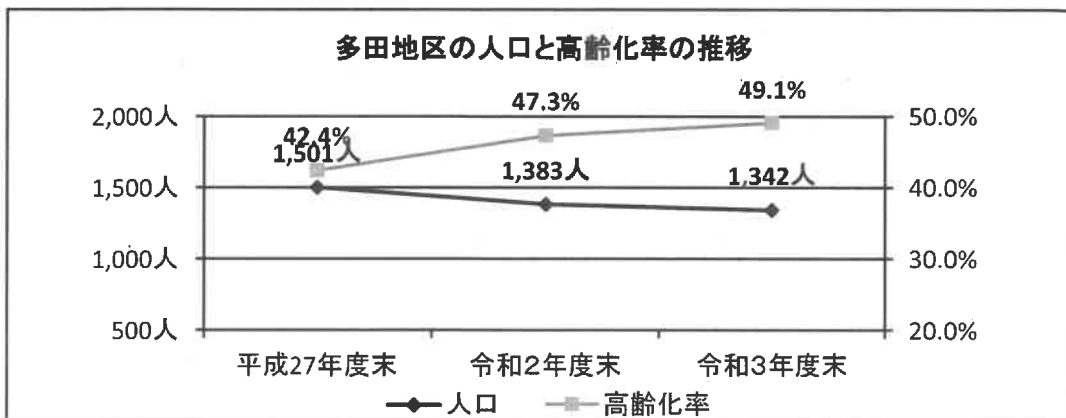
多田地区は、市の北西部に位置し、北は大洲市、西は八幡浜市と隣接しています。地区内を流れる川は伊予灘へ流れ込む肱川の源流で、「肱川源流の地」としても知られています。扇形に広がる小盆地の多田地区は、古来豊かな水を利用して、米作を中心とした農業が営まれており、豊かな自然に囲まれた農村地域です。また、信里地区の関地池の周りには約500本の桜(ソメイヨシノ)が植えられており、春にはきれいに桜が咲き誇っています。



②人口の推移

多田地区の令和4年3月末の人口は1,342人、65歳以上人口が659人であり、高齢化率は49.1%となっており、2人に1人が高齢者となります。6年前と比較すると約160名減少し、高齢化率は約7%増加、それに伴い、子どもの数も令和4年度には43名(平成29年度:66名)と少なくなっていることから、西予市宇和町地域小学校再編計画では、令和14年度を目途に小学校の統合が検討されています。

	平成27年度末	令和2年度末	令和3年度末
人口(人)	1,501	1,383	1,342
65歳以上人口(人)	637	654	659
高齢化率(%)	42.4	47.3	49.1
世帯数(世帯)	710	695	690



3. 地域づくり計画の策定に向けて

①新たな組織の立ち上げ

第1期(平成23年度～27年度)では各種団体の代表者で構成された「多田地域振興協議会」を母体とし、「多田地域づくり協議会」という組織で活動していました。しかし、

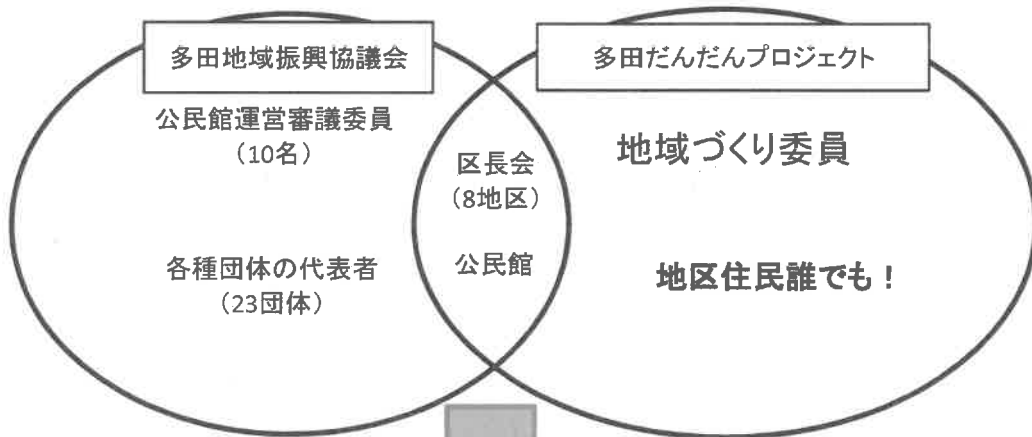
- ・特定の役員に負担がかかり過ぎる。
- ・1～2年で代表者が代わる場所が多く、当初の計画が引き継がれにくい。
- ・部会長が男性ばかりで女性の意見が反映されにくい。

などといった課題が出てきていました。

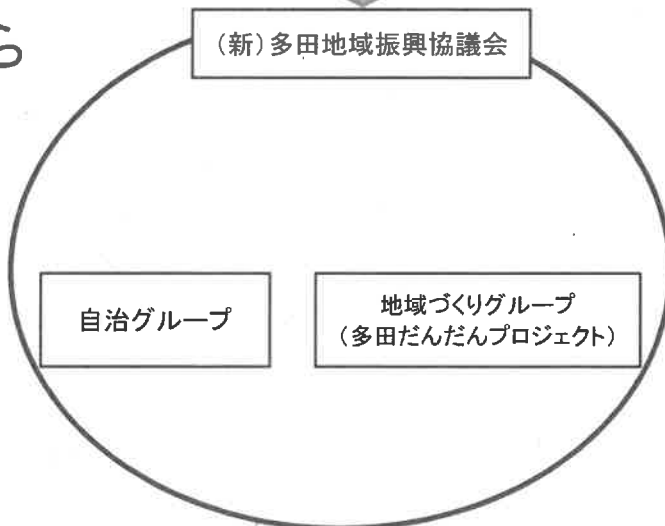
第2期(平成28年度以降)の地域づくり計画策定にあたっては、各地区で男女1名ずつ地域づくりを専門に行う「地域づくり委員」を選出し、それらの委員を中心に新たな組織「多田だんだんプロジェクト」を結成しました。また、この新たなプロジェクトでは、何かの役(団体の代表者など)をしていなくても地域づくり活動ができるよう、本人の希望によってメンバーに加わることもできます。それにより、より多くの住民が地域づくり活動に関わることができるようになりました。

第3期(令和5年度以降)の地域づくり計画では、第2期で結成した「多田だんだんプロジェクト」を地域づくりグループとし、それに区長を中心とする自治グループを新たに立ち上げ、新生「多田地域振興協議会」として新たな組織の立ち上げと共に、今まで以上に連携を密に、お互いが協力をすることにより地域づくり活動を実施していくこととします。

今まで



これから



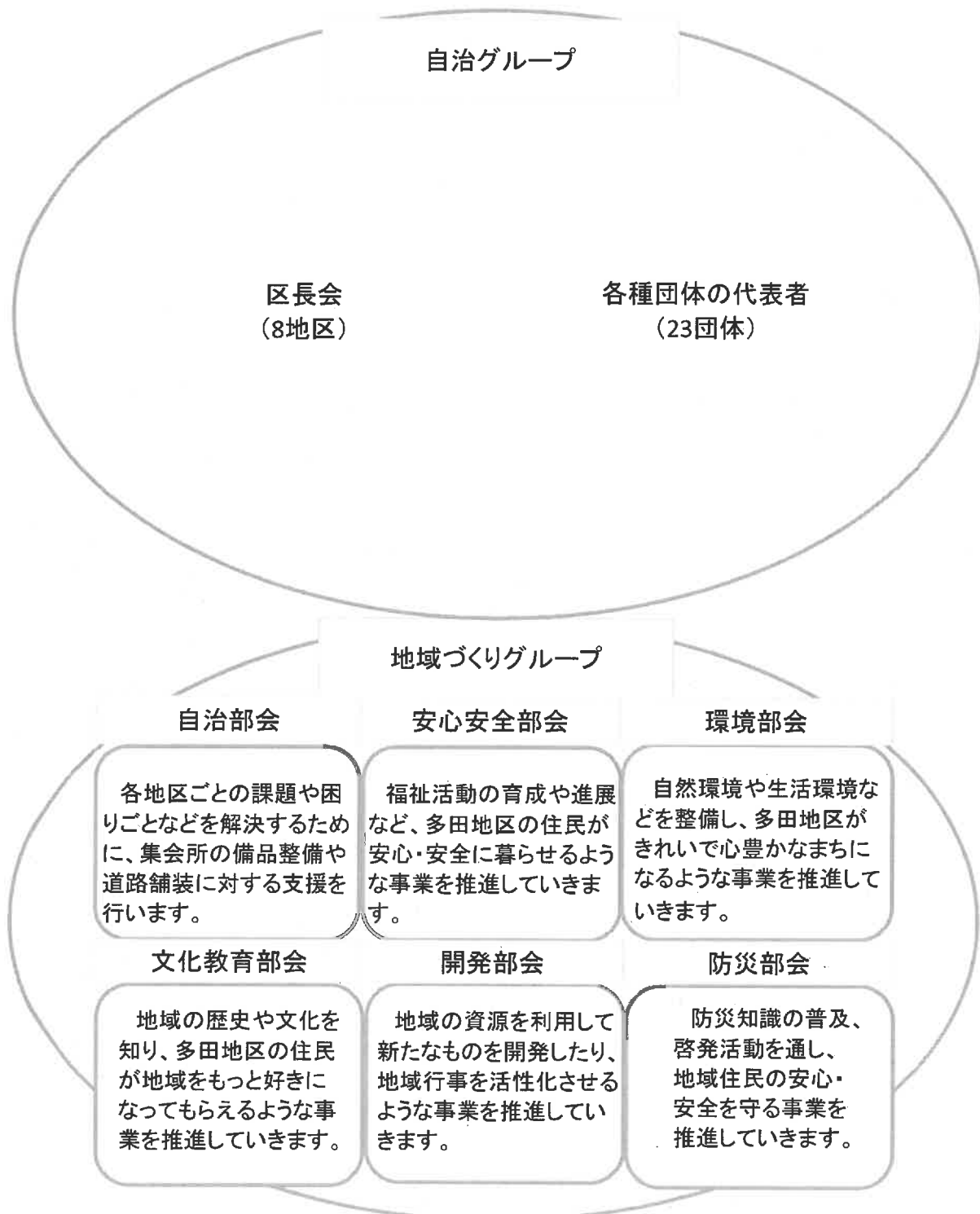
多田地区住民みんな
で地域を盛り上げて
いきましょう!!



4. 多田だんだんプロジェクトの地域づくり構想

①組織体制

今後は、自治グループと地域づくりグループ(多田だんだんプロジェクト)の2つに分け、自治グループでは今まで実施してきた地域行事を継承することとし、地域づくりグループでは以下のような6つの部会ごとに地域資源や現在と将来の課題について見つめ直し、地域資源の有効活用や課題解決に向けた活動を実践することにより元気で活力のある地域の実現を目指します。



テーマ 住民が安心安全で快適に生活できる地域づくり

現状や課題

- ・少子高齢化による高齢者世帯の割合が増加している

- ・異世代間交流の場が少なく地域内のみならず、希薄になっている

- ・通学路には夜暗い場所も多く危険である

目標とする状態

- ・災害時に助けが必ず必要な世帯の把握
- ・高齢者が健康で長生きできる地域にする

- ・子どもからお年寄りまでみんなが仲良くでき、地域のつながり

- ・青パトによる登下校の見守りにより安心安全な通学につながる

高齢者安心・安全プロジェクト

・高齢者見守り訪問、健康教室など

世代間交流プロジェクト

・いろんな世代が交流できるイベントの開催など

小中学生見守りプロジェクト

・登下校の見守り活動など

テーマ

人と豊かな自然が共存する地域づくり

現状や課題

・地域資源である
肱川の源流がある

・休耕田が多く今後も
担い手不足等により
増加していく

・地域には美しい自
然やきれいな水に棲
む生き物がたくさん

目標とする状態

・肱川源流のきれいな
水質を保つ
・ホタルがたくさん住
む川に！

・きれいな景観で多田
地区のイメージアッ
プ！

・自然環境に対する
意識の向上

川の環境美化プロジェクト

・缶拾い、草刈、川掃除など

花いっぱいプロジェクト

・休耕田や公共施設へ花を植える活動など

自然ふれあい体験プロジェクト

・植物観察、川の生物調べ、天体観測など

【開発部会】

テーマ

地域資源を活かした地域づくり

現状や課題

・子どもたちが米の
出来る過程を学ぶ機
会がない

・多田には米などの
特産品がある

・子どもたちが住み
続けたい地区にする

目標とする状態

・昔の米作りを学ぶこ
とによる米文化伝承

・地域経済の活性化
・特産品開発による
知名度の向上

・将来地区を担う子ど
もたちに地区の良さ
を知ってもらおう

米文化伝承事業プロジェクト

・米作りから米文化を学ぶ

地域産業プロジェクト

・多田のものを活用した特産品開発など

小中高生プロジェクト

・これからの多田地区を担う人材づくりなど

テーマ 歴史文化の継承と教育の充実した地域づくり

現状や課題

・地域には埋もれた
名所や史跡がたくさんある

・地域の歴史文化を
知らない人が多い

・伝統文化や郷土芸
能を伝承する場がない

目標とする状態

・名所や旧跡を掘り
起こしすることで地域
資源の再発見、利活
用につながる

・名所や旧跡を広く
知ってもらうことで後
世に継承する大切さ
を学ぶことができる

・伝統文化にふれあう
ことで故郷の誇りや
郷土愛を育むことが
できる

歴史文化継承プロジェクト

・旧跡の看板設置、マップの作成など

歴史文化継承プロジェクト

・旧跡を探訪するイベントなど

三世代ふれあい広場プロジェクト

・郷土芸能を伝承するイベントの開催など

テーマ 交流の場、憩いの場としての地域づくり

テーマ

現状や課題

・未舗装の農道や里道があり往来に支障が出ている

・老朽化した備品があり集会所の運営に支障が出ている

・近い将来、大規模震災が発生する恐れがある

目標とする状態

・道路を舗装することで往来が円滑になる

・備品を整備することにより集いの場が提供できる

・防災関連備品を整備することで被害をより少なくすることができ

きれいな道づくりプロジェクト

・道路舗装など

憩いの場整備プロジェクト

・集会所整備など

防災対策プロジェクト

・集会所ごとの防災備品整備など

【防災部会】

テーマ
防災を通じた地域づくり

現状や課題

・防災知識・訓練が不足している。

・災害時の防災資機材が不足している。

・災害時のリーダーとなるべき人材の確保。

防災知識・訓練プロジェクト

・防災知識の普及など

防災資機材整備プロジェクト

・防災資機材整備など

防災対策プロジェクト

・リーダー研修会など

目標とする状態

・防災知識習得により災害時にとるべき行動が身に付く。

・被災した際に少しでも快適な生活が送れるようになる。

・まとめ役ができることにより、現場の混乱を少しでも抑えることができる。

事業実施計画書

部会名	環境部会	
テーマ	人と豊かな自然が共存する地域づくり	

基本方針	活動内容	説明・目標など	実施期間						優先順位				
			R5	R6	R7	R8	R9	R10~	短期	中期	長期		
川の環境美化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の缶拾い、掃除、草刈 ・蛍マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化に対する意識向上につながる。 ・河川がきれいになり蛍が増える。 ・多田地区の蛍マップを作る。 	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	
花いっぱいプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田を調査し花を植える。 ・コスモス、ひまわりなどの苗を公共施設に配布する。 ・ミニサイクリンググランドを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多田地区のイメージが良くなる。 ・他の地域から見物客が増える。 	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
自然ふれあい体験プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・植物観察 ・川の生物調べ ・天体観測会 ・環境マップの作成 ・各種環境活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化に対する意識向上につながる。 ・子どもと一緒に活動することで愛護班活動が活発になる。 ・地元を知ること故郷を好きになる。 	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○

事業実施計画書

部会名	文化教育部会
テーマ	歴史文化の継承と教育の充実した地域づくり

基本方針	活動内容	説明・目標など	実施期間						優先順位				
			R5	R6	R7	R8	R9	R10~	短期	中期	長期		
歴史文化継承プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある名所、旧跡に由来を記した看板を設置する。 ・歴史マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の名所を掘り起こし看板やマップを作成することで理解を深め、後世に継承することの大切さを学ぶことができる。 	○	↑							○		
	<ul style="list-style-type: none"> ・名所や旧跡を巡る歩こう大会やサイクリング大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・名所を巡るイベントを開催することで地区内外にアピールできる。 ・多田地区のイメージが良くなる。 		○						↑	○	○	○
三世代ふれあい広場プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・三世交代交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代が地域の郷土芸能や昔の遊びを通じ交流することで伝統文化の継承やコミュニケーションの普及を図ることができる。 	○							↑			○

事業実施計画書

部会名	安心安全部会
テーマ	住民が安心安全で快適に生活できる地域づくり

基本方針	活動内容	説明・目標など	実施期間						優先順位					
			R5	R6	R7	R8	R9	R10～	短期	中期	長期			
高齢者安心安全プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者訪問活動 ・高齢者健康づくり教室 ・老人クラブ活性化支援活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とふれあうことで元気を出してもら ・専門講師による病氣予防を学ぶことで元気で長生きにつながる ・総会の講師料支援により活性化につながる 	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	
世代間交流プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ指導による小学生への正月飾り作り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・異世代間の交流を通して地域の人とのつながりを持つことができる 	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
小中学生見守りプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・青パトによる小中学生の登下校を見守ることによって安心安全な通学につながる 	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○

事業実施計画書

部会名	開発部会
テーマ	地域資源を活かした地域づくり

基本方針	活動内容	説明・目標など	実施期間						優先順位					
			R5	R6	R7	R8	R9	R10~	短期	中期	長期			
地域産業プロジェクト	・サブラン栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加 ・地域産業の開発 	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	
米文化伝承事業プロジェクト	・昔の米作り体験	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに昔の米作りを体験してもらい、米文化について考えてもらおう 	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
小中高生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・防災キャンプ ・子供記者 ・高校生部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の向上 ・これからの地区を担う子どもたちに地域の課題について考えてもらおう場の提供 	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○

事業実施計画書

部会名	自治部会
テーマ	交流の場、憩いの場としての地域づくり

基本方針	活動内容	説明・目標など	実施期間						優先順位				
			R5	R6	R7	R8	R9	R10~	短期	中期	長期		
きれいな道づくりプロジェクト	・道路舗装事業	・未舗装の農道や里道を整備することで往来が円滑になり農作業等の効率化につながる。	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
憩いの場整備プロジェクト	・集会所備品整備事業	・集会所の備品を整備し、よりよい集いの場、学習の場を提供する。	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
防災対策プロジェクト	・集会所防災対策事業	・将来予想される震災等に備え防災関連備品を整備する。	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○

事業実施計画書

部会名	防災部会
テーマ	防災を通じた地域づくり

基本方針	活動内容	説明・目標など	実施期間						優先順位						
			R5	R6	R7	R8	R9	R10~	短期	中期	長期				
防災知識・訓練プロジェクト	・防災知識の普及、防災訓練事業	・防災知識の習得、訓練の実施により災害時にとるべき行動が身に付く。	○							↑	○	○	○		
防災資機材整備プロジェクト	・防災資機材整備事業	・防災資機材を整備することにより被災した際に少しでも快適な生活が送れるようになる。	○								↑	○	○	○	
防災対策プロジェクト	・防災リーダー研修事業	・防災リーダーを育成することにより災害時に現場の混乱を少しでも抑えることが出来る。	○									↑	○	○	○